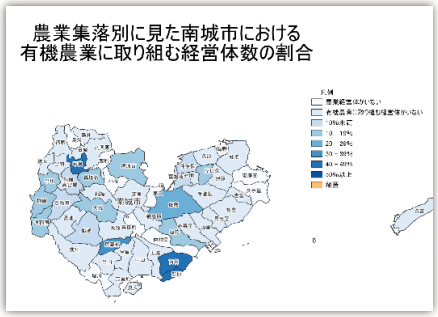
# 農林水産行政に関する業務とは

　農林水産部には、農畜産物の生産振興、輸出の支援、食品の安全性向上の取組など、沖縄の「食」と「環境」に関する様々な業務があります。

　職員の具体的な仕事としては、関係機関との調整や、事業者への補助事業等に係る助言・指導・申請書の審査、普及啓発のための情報発信などの仕事や、これらに伴う行政文書の作成、会計経理などの事務作業を行っています。







地域農業の現状を地図で見える化

　また、一般的なデスクワークのみではなく、統計データ整備のための農家訪問や、事業者へのヒアリング、県・市町村等との打合せなど、現場へ出向く機会も多くあります。

## ✿ 業務風景 ✿


▲補助事業等現場視察


▲施策等説明会


▲情報収集の様子


▲出前授業



▲県や市町村との意見交換・相談対応


▲実演会等の開催


▲打合せ


▲漁業取締り



▲広報活動（SNSでの情報発信）

# 人材育成と研修制度

## 農林水産部独自の研修

職務遂行に必要な基礎的知識の習得や、沖縄の農林水産業の現状や課題、特徴等への理解を深めることを目的として、若手職員を対象とした勉強会（現地研修・座学・グループワーク等）を定期的に開催しています。

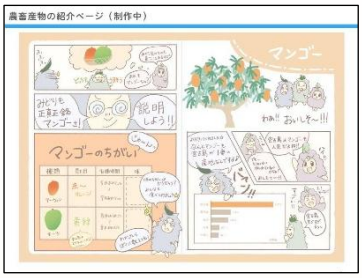
また、政策立案や事業推進に必要なデータ活用スキル向上のための統計利活用に係る研修など、農林水産省等が実施する専門研修に参加する機会もあります。



▲現地研修（さとうきび）



▲現地研修（パインアップル）




▲パンフレットの作成



▲漁業取締船（搭載艇）体験乗船の様子

## 沖縄総合事務局職員の研修

社会人として必要なスキルを身につけるための研修制度も充実しています。様々な研修制度を活用して、自分のスキルアップを目指せます。

**＜階層別研修＞**

・新規採用職員研修（対象者：新規採用職員）

・係長研修（対象者：係長級の職員）　他

**＜スキル向上・実務研修＞** ※令和７年度の実施例

・接遇研修　・ロジカルシンキング研修　・DX理解研修

・Excel研修　・後輩サポート力研修　・文章力研修　他

# 勤務地とキャリアパス

沖縄総合事務局に採用され、農林水産部に配属された場合、主に那覇市おもろまちに所在する沖縄総合事務局（第二地方合同庁舎）で勤務することになります。この他、豊見城市、名護市、宮古島市、石垣市に出先機関があり、また、農業の現場に近い離島官署で勤務することもあります。

本人の希望に応じて内閣府沖縄振興局及び農林水産省（東京都千代田区霞が関）に出向することも可能です。

概ね２年サイクルで幅広い分野の業務を経験し、若手のうちに離島や東京での勤務を経験する機会もあります。



▲水稲の刈取り調査の様子
（石垣農林水産センター）

